



夢や希望に向かって、学び続け、チャレンジするとっりの子ども (15歳までに)

めざす幼児の姿
遊びきる子ども



学びの基礎づくり

豊かな人間性

健康な体づくり

鳥取県幼児教育振興プログラム (改訂版)
～就学前教育の充実と幼児期から小学校への一貫した支援体制の整備～

《推進の柱》

《基本方針》

- 1 幼児教育・保育内容の充実
- 2 教員・保育士等の資質の向上
- 3 小学校教育との連携推進
- 4 子育て・親育ち支援の充実
- 5 地域で支える幼児教育の推進

- ・幼稚園教育要領・保育所保育指針に沿った幼児教育・保育の展開
- ・幼児教育・保育環境の改善
- ・特別支援教育の推進
- ・研修体制の整備
- ・研修内容の充実
- ・連携・交流の体制づくり
- ・つながりを意識した幼児教育・保育内容の充実
- ・「親と子の育ちの場」の充実
- ・子育て支援体制の充実 ・センター的機能の整備
- ・幼児教育関係組織の連携
- ・幼保一体化など新たな課題への対応
- ・地域に支えられた園づくりの推進

【幼児】

- ・文字や数字への興味関心が高い
- ・情報が得やすく知識が豊富
- ・素直で人なつっこい
- ・物があふれた中での生活
- ・基本的な生活習慣の自立の遅れ
- ・コミュニケーションの能力が未発達
- ・小学校生活への不適応
- ・外遊びや直接体験の不足
- ・体の使い方が未熟で、体力・運動能力が低い
- ・自制心や規範意識の不足
- ・遊びこむ（遊びに集中・遊びに広がり・試行錯誤のある遊び等）体験の不足

【保護者】

- ・園行事への参加率が高い
- ・我が子へ愛情をかけている
- ・公的な場でのマナーなど規範意識の低下
- ・子育てよりも自分のことを優先
- ・しつけ、子育てを幼稚園や保育所にまかせがち
- ・コミュニケーション能力、人とつながる力の弱さ
- ・子育ての孤立化・子育て不安や情緒不安定

【地域・社会】

- ・少子・核家族化
- ・身近な自然や遊び場の減少
- ・子育て支援体制整備の充実と活用
- ・メディアへの依存
- ・近所の人や地域とのつながりの希薄化
- ・育児情報の氾濫
- ・子ども同士で遊び、葛藤しながら成長する体験の機会の減少

【教員等】

- ・家庭や地域社会の教育力の低下に対応するための資質・専門性を高める必要
- ・教員等自身の多様な体験の不足
- ・保護者等との良好な関係を構築する力が未熟
- ・保育を構想し実践する能力が不足する傾向
- ・多様な発達や家庭環境に対応する力が必要

鳥取県の特徴

- ・女性就業率が高い
- ・保育所入所児の割合が高い
- ・長期間保育・長時間保育の子どもが多い

背景